

タバコとコロナウイルスについて

感染予防へ1人1人が出来る対策を

コロナウイルスにより新しい生活様式となりましたが、感染予防策として当事業所においては、対面にならないように休憩所の配置変更・喫煙所の人数制限・昼食時間の分散・パーテーションの設置などを実施していると思います。

ご協力いただきありがとうございます。



先日、休憩時間に喫煙所の人数制限を守りきちんと順番待ちしている姿を見かけましたが、そのような1人1人の行動が感染拡大予防となりますので、今後ともご協力お願いいたします。

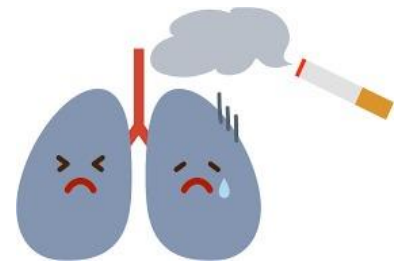
禁煙はコロナ感染と重症化において「深刻な脅威」

日本禁煙学会によると、コロナウイルスに感染した場合、重症化しやすいのは

①高年齢(60歳以上) ②喫煙(電子タバコも含む)

③喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)のある人

④糖尿病や肝疾患などの慢性疾患のある人



喫煙者は、感染による肺炎が14倍も悪化しやすく、また、喫煙スペースはクラスター(集団感染)の発生源となります。吸っている人だけでなく、受動喫煙も肺や免疫力へのダメージとなります。

世界の医師や専門家からのメッセージ

WHO→新型コロナウイルス感染症の Q&A で**してはいけないことの第一に「喫煙」**をあげており、「**タバコを吸わないでください。喫煙は、あなたが(COVID-19)コロナにかかった際に重症化させるリスクがあります。**」としています。

英国の医学雑誌「BMJ」でのメッセージ→新型コロナウイルス感染症のウイルスは、主に気道に関する感染症であり、ウイルスは気道や肺から侵入するが、タバコの煙には**ウイルス感染をしやすく、重症化のリスクが上がる**ので**喫煙者は新型コロナウイルス感染症に感染する危険性が高い**と警告している。

東京都医師会→新型コロナウイルス感染症の感染症を防ぐため**「喫煙者はこの機会にぜひ禁煙を」**とお願いしています。4月からは受動喫煙防止条例も全面施行となっています。非喫煙者のためではなく、ご自身の身を守るためにもこの機会にぜひ禁煙を考えてください」

サードハンドスモーク(三次喫煙)とは？

受動喫煙が体に悪いというのはすでによく知られていますが、サードハンドスモークについて、わずかなタバコの残留物質でも長時間暴露をうけることにより、受動喫煙以上の悪影響があるようです。(髪や衣服についた煙・家具やカーペットに付着したタバコ成分など)
通常受動喫煙(二次喫煙)に比べて微量ですが、喫煙した人の呼吸から有害物質は 40 分間はき出され続けています。

ベランダ喫煙のみ行っている父親と一緒に暮らす赤ちゃんの尿からニコチンが検出されたというデータもあります。コロナウイルス対策への意識が高まっている今こそ、家族やご自身のためにも、ぜひ禁煙を考えてみましょう。